

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	家庭飼育動物から分離された大腸菌の薬剤感受性および遺伝子型
発表学会名	平成23年度獣医学術学会年次大会（北海道）
発表者名	永田 暁洋、山崎 史子、石畝 史（細菌・ウイルス研究グループ）
発表日時	平成24年2月4日
発表内容	<p>家庭で飼育されている犬および猫から病原大腸菌、フルオロキノロン耐性大腸菌およびCTX耐性大腸菌が高率に分離された。フルオロキノロン耐性大腸菌の主要な血清型は、01:H6(9株)および025:H4(8株)であった。CTX耐性菌の血清型は01:H6および01:HNMが各5株で最多であった。家庭飼育犬猫の糞便から、ESBL遺伝子である<i>bla</i>CTX-M-14あるいは<i>bla</i>CTX-M-15を保有し、フルオロキノロン系薬剤にも耐性を示すCTX耐性大腸菌が分離された。また、人由来株と共通する血清型がみられたことから、家庭飼育動物からの感染の可能性があった。</p> <p>家庭飼育動物からの感染予防の啓発および動物医療現場における薬剤耐性菌対策の推進が必要である。</p>